

2021年2月14日

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

APEV デザインコンテスト実行委員会

「国際学生“社会的EV”デザインコンテスト 2022」企画書

APEVは2013年から2019年まで計4回、東京モーターショーの開催時期に合わせ2年毎に「国際学生EVデザインコンテスト」を実施して参りましたが、世界に蔓延しているCOVID-19への対応として、2021年は中止し2022年に大幅にリニューアルした第5回を下記の通り開催致します。

今回のコンテストではテーマを「“社会デザインとEV”2040の提案」と題し期限を明示したテーマを設定致しました。「2035年までに新車販売で電動車100%を実現」や「2050年カーボンニュートラル」の話題など、時代は大きくEVに傾いています。そこで我々は、EVの役割を単なる移動体の観点からではなく、人々の生活に必要な不可欠なモビリティとしての在り方、そして人々の豊かな暮らしとは何かを考えるコンテストにすべきだと結論付けました。

その結果、今回のコンテストでは、社会そのもののデザインの構築、即ち“社会デザイン”の理想的な姿を考える中から、EVのモビリティとしてのあるべき姿を、参加者と協賛企業様・我々電気自動車普及協会が一体となりテーマのより良い解決策を導き出したいと考えています。

また今回は、これまで以上に人材の育成に焦点を置き「融合型人材(モビリティ・アーキテクト)」なる次世代の人材の発掘にも重点をおいたコンテストにしたいと考えています。今後EVは車がエンジンからモーターに変わっただけのものではありません。“MaaS”や“CASE”と言ったキーワードに代表されるように「モノからコト」にその期待値も変化していきます。現在の自動車産業に関しては、更なる変革を求められるのは必至です。その新時代に対応できる人材育成は、これまでの教育で十分なのでしょうか？我々は向かうべき新しい時代に向けた新しい人材の登場が重要だと考えています。融合型人材(モビリティ・アーキテクト)はそのような時代を象徴する人材像と言えます。

(注)“社会的EV”及び“モビリティアーキテクト”の用語の定義は本コンテスト内での使用に限ります。

よって、コンテストの評価軸を以下のように変更します。

[旧]「スタイリング(優先:デザインの完成度)+コンセプト(デザインの説明:ストーリー)」

[新]「2040年の社会デザイン(優先:課題発掘)+コンセプト(解決策)+デザイン(説明としてのビジュアル)」

環境問題や自然災害・移動の安全・エネルギーなど喫緊の課題及び、サービスを中心とした新しい社会システムの構築に関して、学生諸君から発想から生み出される新しい「社会デザイン」を期待しています。

参加を期待する学生諸君の専門性は特に問いません。我々は文理融合を推進していきたいと考えています、2040年の社会と、そこに活躍するモビリティの未来を研究したいと思う諸君であれば、誰もが参加資格を有します。我々はこれまで以上に、専門性に拘らず多分野の学生諸君の参加を期待しています。

「記」

1. 名称:国際学生“社会的EV”デザインコンテスト 2022

【社会的EVとは】『EV即ちモビリティが社会との関わり方の中で、パブリック/パーソナル双方に対し進化・貢献すること』を本コンテストでは社会的EVと定義する。

2. 目的:社会デザインとEVの可能性の研究を通して、次世代を担う融合型人材の育成

当コンテストはこの融合型の人材をアーキテクトと呼び、このアーキテクトの育成こそが本コンテストの目玉である。アーキテクトは、クルマを取り巻く専門職に留まらず、デザインやエンジニアリングの範疇を超え、ビジョンと洞察力を有する人材を指す。

アーキテクトは、確固たるビジョンを有し「Art/Design」「Philosophy」「Technology」に関わる高い専門的知識と豊かな「Sustainable & Human Society」を有し、来たる将来にプロジェクトリーダーとして他分野を巻き込み、プロジェクトの成功のために協力する磁場を構築することができる、総合的な能力の持ち主である

と定義する。

3. 体制

- 主催: 一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
- 後援: 環境省、経済産業省、国土交通省、公益社団法人 自動車技術会、
東京大学大学院情報学環、東京都、一般社団法人 日本自動車工業会(申請中 50 音順)

■ 協賛:

【1 次協賛】(50 音順)

- カーデザインアカデミー(ブランド名)
- (株)ベネッセホールディングス
- CCC マーケティング(株)
- デル・テクノロジーズ(株)
- 日野自動車(株)
- 日本アイ・ビー・エム(株)
- MONET Technologies(株)
- (株)ワコム

【2 次協賛】募集中(協賛パッケージは別紙参照)

協賛金: ゴールド 500 万円、シルバー 250 万円、ブロンズ 100 万円(+消費税)

<協賛企業様メリット>

- ・若い世代の生声を知ることができる(マーケティングリサーチに代わる新しい価値)
- ・次世代を担う学生の育成に貢献できる
- ・自社の PR ができる(リクルート活動の参考になる)
- ・コンテスト参加学生と意見交換が出来る(商品やサービス開発の参考になる)
- ・協賛企業同士の交流ができる
- ・EV 普及活動や温暖化防止活動をしている企業であることをアピールできる

4. 組織 :EV デザインコンテスト実行委員会(APEV 内組織)

- 委員長: 山下 敏男(APEV 理事、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表)
- 副委員長: 有馬 仁志(APEV 理事、有馬マネジメントデザイン株式会社代表取締役社長、
横浜スマートコミュニティ代表)
- サポーター: APEV 会員・協賛等から公募する
- 事務局: 一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

5. 審査委員:

- 審査委員長: 藤原 洋: APEV 理事、株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO、
株式会社インターネット総合研究所代表取締役
- 審査委員:(敬称略、50 音順)
安藤 忠雄: 建築家、東京大学特別荣誉教授
井原 慶子: Future(株)CEO、カーレーサー、日産自動車(株)取締役
ジャン ファン: 広州自動車グループ デザイン担当副社長
竹岡 圭: モータージャーナリスト、日本自動車ジャーナリスト協会 副会長
松本 博子: 女子美術大学 理事 副学長 研究所長 芸術学部 デザイン・工芸学科 教授

パトリック ル ケモン:デザイナー、元ルノー デザイン担当副社長

脇田 玲:アーティスト、慶應義塾大学 環境情報学部 教授

田嶋 伸博:APEV 代表理事、(株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO

6. 募集課題と審査

■ 課題:“社会デザインとEV”2040 の提案

I, 一次審査:以下の[1][2][3]の提出物を審査する(20 チーム前後を選ぶ)

* 一次審査通過チームには“ワークショップ I”に参加する権利が与えられる

[1] 2040 年の社会背景の考察を小論文にまとめる(必要に応じ図やグラフを用いる)

- (1) 社会状況(人々の生活や移動の手段は?)
- (2) EV を含むモビリティはどのように進化しているか?
- (3) (1)(2)を軸とした社会インフラはどのように進化しているか?
- (4) 技術は人々にどのような生活スタイルを与えているか?

[2] 考察からコンセプト(ストーリー)を組み立てる

[3] コンセプトがイメージできるビジュアル:(手書き可)の添付

II, 二次審査:以下の[1][2][3]の提出物を審査する(10 チーム程度のファイナリストを選ぶ)

* 二次審査通過チームには“ワークショップ II”に参加する権利が与えられる

[1] 一次審査に同じ(ワークショップなどを通じレベルアップさせる)

[2] 一次審査に同じ(ワークショップなどを通じレベルアップさせる)

[3] より具体性あるビジュアル(手書き、デジタルデータを問わない)

III, 最終審査:ファイナリストが発表を行い、その後に賞を決定し授与する

- ① 3 分間のムービーによる説明:二次審査のコンセプトを反映する事
- ② B1 サイズ(縦)のポスターデータ(pdf)を作成
- ③ 審査委員による質疑応答を実施

■ 応募要領

- 1) 2022 年 4 月時点で 18 歳以上の学生(1 名もしくはチームも可)
- 2) エントリー費:無料
- 3) 学校をまたがるチーム編成も可(学校をまたがるチームを作りたい場合は主催者が相談に乗る)
- 4) 参加者は主催者が指定する SNS★に登録し、各種案内にタイムリーに回答できる
★Facebook <<https://www.Facebook.com/profile.php?id=100015938746866>>
- 5) 作品は英語を基本とする(母国語を併記することは可)
- 6) 15 歳~17 歳のオブザーバー参加も合わせて募集。尚、オブザーバーは「コンテスト SNS、ワークショップ、最終審査&表彰式」に参加し関係者とコミュニケーションを行うことが出来る。

* 今回より担当教員の承諾に関するルールを廃止し、学生自身での応募を可能とする事とした。

<参加学生のメリット>

- ・STEAM 教育的に、実社会で活動している方々からのアドバイスを通して社会を知ることができる
- ・「WS」や SNS で他大学生・協賛企業・サポーターと意見交換が可能となり視野が広がる

- ・「WS」で協賛企業・サポーターのアドバイスを含めた有意義な情報を得られる
- ・1次審査を通過した場合、作品集に作品が掲載され、ポर्टフォリオのレベルアップに繋がる
- ・2次審査を通過した場合、最終審査のリアルな体験と具体的な講評を直接受ける事が出来る
- ・作品が2次利用される可能性がある(但し協賛企業のオファーによる)

■審査基準

- 1) オリジナリティ:独自の社会背景の考察が高いレベルであり、かつ提案されるアイデアやストーリーが独創的で魅力的であること
 - A) 社会課題の考察が的確かつリアリティがある事
 - B) 解決策のコンセプト・新しい技術やストーリーそしてビジョンが明快であること
- 2) デザイン:時代性・社会性を反映し魅力的であり、且つ実現の可能性を秘めていること
- 3) プレゼンテーション力:プレゼンテーションの表現力、説得力が高い
 - * 応募者自身のオリジナル作品で、国内外で未発表であること

7. 賞金・賞品

- 最優秀賞:20万円+賞状
- 経済産業大臣賞:10万円+賞状
- 国土交通大臣賞:10万円+賞状
- 協賛団体賞:協賛団体から提供される物品等+賞状

8. SNSによる交流

- 1) 主催者はエントリー開始からコンテスト終了までコンテスト専用 SNS★を運営する
★Facebook <<https://www.facebook.com/profile.php?id=100015938746866>>
- 2) SNS 参加者:参加学生・参加校の教員・協賛団体・後援団体・サポーター(業界第一線のデザイナー、エキスパート等)・オブザーバー・実行委員会
- 3) SNS での交流内容:(必須)参加者の自己紹介、
(任意)作品制作過程の情報交換・相談事・アドバイス・質問

9. ワークショップ(WS)

- 1) ワークショップ(WS)の概要
MaaS や CASE など現状や将来の動向に関し理解を深め「2040年の社会デザインを考察」の参考とする。また必要に応じたデザイン表現に関しての指導を行い「アーキテクト(融合型人材)」育成を念頭に文系理系デザイン系に拘らず、全ての参加者に平等なコンテストとなるよう配慮する。
- 2) 各 WS の役割
 - ◎プレ WS:コンテストの企画意図説明とコンテストに対する参加者のモチベーション UP
 - ◎WS I :1次作品に対するアドバイス
 - ◎WS II :2次作品及びプレゼンテーション方法に対するアドバイス
- 3) プレ WS の内容(詳細は変更の可能性あり)
ハイブリッド(リアル+オンライン)かオンラインのみかは状況に応じて決める
当コンテストに関心のある学生とオブザーバーが参加し、前半2時間+休憩1時間(日本では昼食)+後半2時間を基本とする

◎前半 2 時間:

- ・オリエンテーション: コンテスト・モビリティを取り巻く環境と課題・アーキテクト等について説明(25 分)
- ・講座: “2040 の社会デザインと EV” についての有識者講演(25 分)
- ・休憩 (10 分)
- ・コンテストと学生への期待を協賛社が語る (80 分)

◎後半 2 時間:

- ・質疑応答(午前の内容について): 参加学生と主催者・協賛社・サポーター(80 分)
- ・休憩 (5分)
- ・まとめ: 全員で全体の振り返り(15 分)

4) WS I の内容(詳細は変更の可能性あり)

- 一次審査通過チームが参加しリモートで約 3 時間(休憩含み)
- ・全体評価: 主催者 (20 分)
- ・プレゼン: 参加学生の一次作品プレゼンと主催者コメント (2 時間 10 分=20 チーム X(発表 3 分+コメント 3 分)途中休憩 10 分含む)
- ・まとめ: 主催者及び参加学生が全体の振り返り(30 分)

5) WS II の内容(詳細は変更の可能性あり)

- 二次審査通過チームが参加しリモートで約 3 時間(休憩含み)
- ・全体評価: 主催者がプレゼンの手法説明: (20 分)
- ・プレゼン: 参加学生の二次作品プレゼンと主催者コメント: (2 時間 10 分=10 チーム X(発表 3 分+コメント 8 分)途中休憩 10 分含む)
- ・まとめ: 主催者及び参加学生が全体の振り返り: (30 分)

10. 全体日程

2021 年 8 月-12 月: 協賛一次募集・サポーター募集

2022 年 1 月 20 日: 記者発表会@オンライン

2022 年 1 月-8 月 : 協賛二次募集

2022 年 2 月 14 日 : エントリー開始

2022 年 3 月 27 日 : プレワークショップ開催

2022 年 5 月 10 日 : エントリー締切

2022 年 6 月 10 日 : 一次作品提出締切

2022 年 6 月下旬 : 一次審査結果発表

2022 年 7 月上旬 : ワークショップ I 開催

2022 年 8 月上旬 : 二次作品提出締切

2022 年 8 月下旬 : 二次審査結果発表

2022 年 9 月下旬 : ワークショップ II 開催

2022 年 10 月下旬 : 最終審査&表彰式及び APEV シンポジウム開催 *

*東京モーターショー(2022 年は開催せず)に代わり CEATEC2022 と連携を行う

2023 年 3 月中旬: 報告会

(日程は予告なく変更される事があります)

【実行委員会連絡先】

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)内

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール

TEL : 050-3375-4937 E-MAIL : contest@apev.jp

以上

【別紙】

ご協賛パッケージプラン(2022年)

ご協賛企業様メリット

- ・若い世代の生声を知ることができる（マーケティングリサーチに代わる新しい価値）
- ・次世代を担う学生の育成に貢献できる
- ・自社のPRができる（リクルート活動の参考になる）
- ・コンテスト参加学生と意見交換が出来る（商品やサービス開発の参考になる）
- ・協賛企業同士の交流ができる

	パッケージタイプ		
	Gold	Silver	Bronze
①コンテストのSNSサイトへのバナー掲載・ブログを活用したPR	●	●	●
②特設サイト（コンテスト専用Webサイト）へのバナー掲載	●	●	●
③コンテストのワークショップ(夏・秋)へ参加し参加者と交流	●	●	●
④印刷物（ポスター・チラシ・2022作品集等）への社名・ロゴの掲載	●	●	●
⑤審査会に参加：2次&最終審査	●	●	●
⑥コンテスト事例（2次活用）の一部権利のご提供	●	●	
⑦表彰式での自社PR展示	●	●	
⑧企業冠賞を設定：2次&最終審査で投票し表彰式で賞状・副賞を授与	●		
⑨冠賞企業のご要望に応える特別な取り組み	●		
金額（消費税別途）	500万円	250万円	100万円

※当会会員企業様とのコンタクトについては、別途、APEV正会員への入会を頂く必要がございます。